




平成 30 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 :  **ジャパンフーズ株式会社**  
 (コード : 2599 東証第 1 部)  
 代表者名 : 代表取締役社長 細井 富夫  
 問合せ先 : 常務取締役 CFO 尾上 晋司  
 (TEL : 0475-35-2211)

## 中期経営計画のレビューと見通しについてのお知らせ

2016年4月に公表しました2016年度から2018年度までの3年間を対象とする中期経営計画(“JUMP+2018”一躍動一)について、2年目(2017年度)のレビューを行いましたので、お知らせいたします。

当社は、この中期経営計画に基づき、我々の生業であるコアセグメント(清涼飲料受託製造事業)では、「次のステージ」へ向け、「総合スクラップ&ビルド」の第1フェーズとして、工場建屋、ペットボトルブロー成型機及び炭酸常温充填ラインの新設を行い稼働しました。

新規セグメントでは、中国における合弁事業東洋飲料(常熟)有限公司(清涼飲料受託製造事業)が経常黒字を達成しました。国内における水宅配事業(株)ウォーターネットは黒字化の定着に加え更なる業容拡大に注力しております。又、2017年4月に独立分社化した連結子会社のJFウォーターサービスについては、着実に顧客を増加しております。

今期業績としましては、新規セグメントにおいては予算を達成しましたが、コアセグメントにおいて、第3四半期のブランドオーナーの在庫調整の影響による受注減を取り返すことができず、グループ全体として予算未達となりました。来期につきましては、グループ全体として、次の次のステージを目指し、100年企業への経営・収益基盤を盤石なものとするため、先行布石としての投資を増やしていくことから、当初設定した、中期経営計画の3年目目標は、ポスト中期経営計画へ引き継ぐこととなります。

### 1. 業績目標数値

2016年度・2017年度の実績と2018年度の業績目標数値は、次の通りです。

単位：百万円

	実績		中期経営計画最終年度
	2016年度	2017年度	2018年度
	単体	連結	連結
売上高	15,118	14,851	16,200
営業利益	1,154	893	990
経常利益	1,167	959	1,060
当期利益	716	658	730
ROE(%)	9.3	8.2	8.4

### 2. 中期経営計画の内容

2017年度のレビューと中期経営計画(“JUMP+2018”一躍動一)の内容につきましては、簡易的ではありますが、別紙資料をご参照ください。

以上



“JUMP+2018”－躍動－  
【千葉から日本、そして世界へ！】

－中期経営計画(“JUMP+2018”－躍動－)のレビューと見通し－

2018年4月27日

ジャパンフーズ株式会社

■ コンセプト

JUMP+2018  
－次のステージへ－

コンセプト

“JUMP+2018”－躍動－  
【千葉から日本、そして世界へ】

蓄積された経営資源を最大限活用  
持続的成長(100年企業)を目指す

中期経営計画の施策期間:2016年度～2018年度(3カ年)

経営基本方針

スピード  
Speed

アクション  
Action

## 持続的成長への危機感

外部環境は不透明  
2020年へのモメンタム(勢い)

### 「次のステージへ！」

コアセグメント：質の競争力を高め、日本一のパッカーへ  
新規セグメント：収益へのコミットメント

Copyright © 2018 JAPANFOODS Co., Ltd. All Rights Reserved.

2

# ■ 次のステージへ

## 「戦略的パートナーシップ」

飛躍へのドライバー

## 「自立自発」

人・組織の意識改革

## 「100年企業」

長期的視野のひと・もの・かね・情報 戦略策定・実行

## 「イノベーション」

変革へのドライバー(設備投資・新価値創造)

Copyright © 2018 JAPANFOODS Co., Ltd. All Rights Reserved.

3

項目		ふ(防ぐ)	け(削る)	か(稼ぐ)	
成長戦略	1.コアセグメントの収益拡大 【名実ともに日本一のパッカーへ】	新工場	S&B(スクラップ&ビルド)により営業キャッシュフロー増大		
		既存工場	品質向上の追求	生産効率・稼働率・ 原単位の向上	新規商材の投入
	2.新規セグメントの着実な推進 【もう一つの経営基盤構築】	東洋飲料社	2017年連結・グループ経営強化		
		ウォーターネット社			
	その他	国内外で新規セグメント創出			
3.成長戦略を支える 経営基盤の強化	ひと	人材の多様化・育成強化を推進する 10年後を見据えた『骨太人材戦略』			
	もの	S&B(スクラップ&ビルド)推進、 統制機能および設備・購買管理機能強化			
	かね	成長戦略に対応した財務構造の確立			
	情報	戦略的な情報活用、IR・CSR活動の推進			

Copyright © 2018 JAPANFOODS Co., Ltd. All Rights Reserved.

4

## 定量計画イメージ

項目\年度		実績		単位:百万円
				中期経営計画最終年度
		2016年度	2017年度	2018年度
		単体	連結	連結
P / L	売上高	15,118	14,851	16,200
	営業利益	1,154	893	990
	経常利益	1,167	959	1,060
	当期利益	716	658	730
B / S	総資産	18,951	20,539	21,150
	株主資本	8,005	8,320	9,050
指標	ROE(%)	9.3	8.2	8.4
	ROA(%)	3.7	3.2	3.5
設備投資額		2,413	5,338	1,426

Copyright © 2018 JAPANFOODS Co., Ltd. All Rights Reserved.

5

単位:百万円

セグメント\年度	実績				【中期経営計画】	
	2016年度		2017年度		2018年度	
	単体		連結		連結	
	経常利益	当期利益	経常利益	当期利益	経常利益	当期利益
コアセグメント	1,167	716	859	567	960	630
新規セグメント	—	—	100	91	100	100
合計	1,167	716	959	658	1,060	730

Copyright © 2018 JAPANFOODS Co., Ltd. All Rights Reserved.

6

## ■ 配当方針

JUMP+2018  
-次のステージへ-

### 配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と考え、配当につきましては、安定かつ、継続的な配当を行うことを基本方針として参りました。その方針は維持しつつ、適切な利益還元のため、従来の定額の安定配当に加え、配当性向20%の指針を導入し、当期業績に応じて、期末配当の増配を行うこととします。

平成30年3月期 通期配当 : 27円(予想)

平成31年3月期 通期配当 : 30円(予想)

Copyright © 2018 JAPANFOODS Co., Ltd. All Rights Reserved.

7

## 本資料の予測情報に関するご注意

本資料に記載された計画や予測等は、資料作成時点での様々な前提に基づいた弊社の判断であり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがあります。

(お問い合わせ先)

ジャパンフーズ株式会社  
経営企画部

TEL:0475-35-2123 FAX:0475-35-2216

URL:<http://www.japanfoods.co.jp>